

令和5年度 横浜市立四季の森小学校 学校だより

このまちに生き、共に輝く子



四季の森

9月号

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shikinomori/>



いよいよ9月が始まります

学校長 森脇 信行



4年生が育てたヒョウタン

学校に子どもたちの明るい笑顔と元気な歓声が戻ってきました。夏期休業中は、保護者、地域の皆様が、子どもたちの生活を見守ってくださり、ありがとうございます。おかげさまで大きな事故もなく、無事夏休みを終えることができました。この夏休み期間に、校庭で聞こえるセミの声もニイニイゼミ、ミンミンゼミ、アブラゼミと増え、最近はツクツクボウシの声が目立つようになってきました。また、校長室では毎日元気な

スズムシの声が聞こえています。いつの間にか、朝夕に吹く風の中にほんの少し秋の空気を感じるようになってきました。まだまだ残暑厳しい毎日ですが、季節は確実に進んでいます。

さて、9月1日は「防災の日」です。そして、この日を含む一週間が「防災週間」と定められています。9月2日(土)には四季の森小学校地域防災拠点の資機材稼働訓練が上白根北中学校の生徒も参加して行われます。中学校合併に伴い次年度以降は四季の森小学校の参加体制を検討してまいります。今年度本校では、8月31日に防災訓練を実施します。授業中、震度7以上の大地震が起きたことを想定し、放送機器が使えず、自力避難ができない負傷者が出た想定で訓練を行います。学校で行われる防災訓練は一般的に子どもが行う訓練と思われがちです。しかし、本校では、職員が子どもたちの命を守るための訓練であることを意識して行っています。そのため、教職員も真剣です。

私たちは、日頃から子どもたちに、「お・か・し・も」(おさない かけない しゃべらない もどらない)という言葉で避難の心構えを指導しています。災害はいつ起きるかわかりません。登下校中や休み時間など、大人の指示が届かない時に起きるかもしれません。そこで、「自分の命は自分で守ることのできる子ども」を育てたいと思っています。そのためには大人の指示がなくても自分の力で周囲の状況を確認して、どう避難したらよいか判断することが必要です。ご家庭でも、是非話題にしてみてください。

